

### 外柵や塀・門柱・門扉

外柵や塀・門などは、まち並みをつくる重要な要素です。ブロック塀等面でふさぐと無機質で閉鎖的な印象になります。植栽や透過性のあるフェンスなどを使用し、道路と敷地を仕切りながらも、ゆるやかにつなぐ工夫が必要です。



### 道路に面した空地

道路に面した空地は車止めや縁石で境界を区切ることが多いですが、工夫によりまち並みに対する開放性が高まります。床仕上材の工夫や緑地やベンチなどの設置により歩道や広場として開放すると、ゆとりのあるまち並み空間が生まれます。



### 植栽

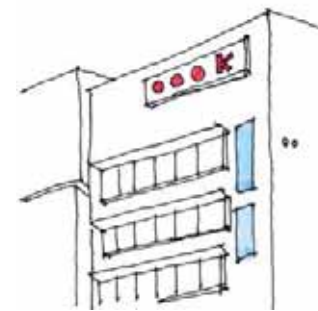
植栽はまち並みに潤いを与えます。敷地内を中高木や花壇などで緑化し、特に道路に面する部分に植栽帯を設けると効果的です。また、既存樹木の保全に努め、周辺植生に合わせた樹種を選定することが望めます。



### 屋外広告物(屋上広告・壁面広告・野立て広告)

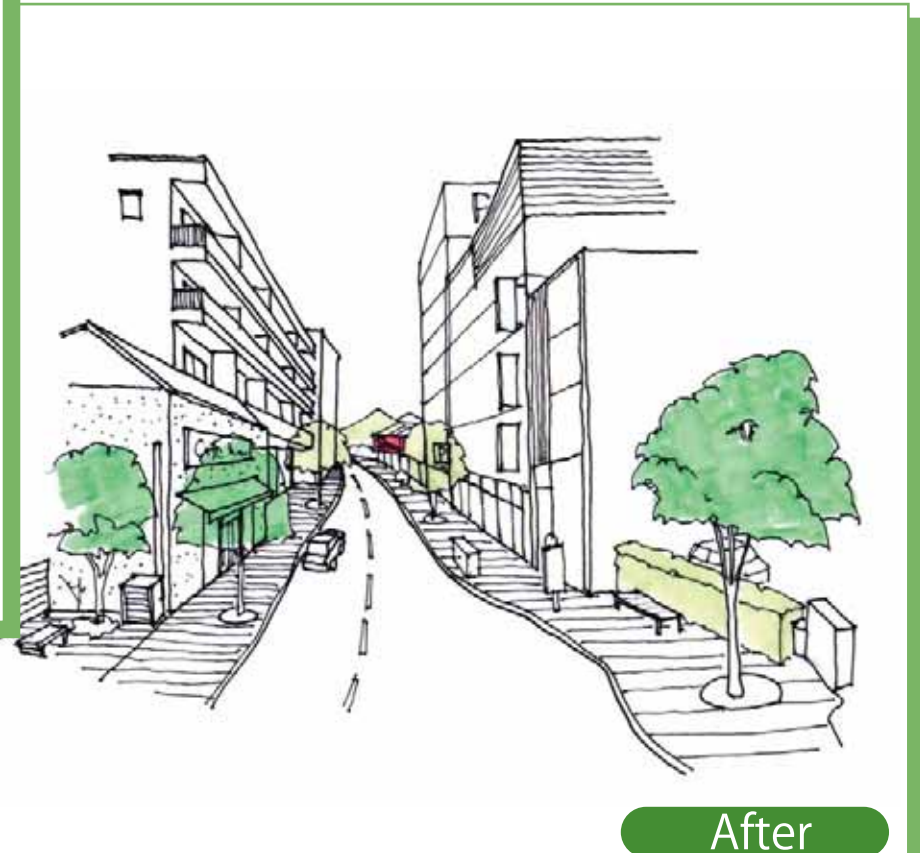
屋外広告物は情報の伝達や街のにぎわいに不可欠ですが、機能上、誘目性が強いいため、掲出する際は注意が必要です。屋上広告や壁面広告は、その掲出位置や大きさに注意し、建物本体と一体的なデザインとなるよう配慮しましょう。

野立て広告は道路沿いに競い合うように建てられることが多く、それによりまち並みを煩雑にし、また広告効果も半減する可能性があります。まち並み単位で周囲を見回して、形状や位置などに配慮すると、印象が良くなります。



## たとえばこんなまちに…

- にぎわいのあるまちにしたい
- 心地よいまちにしたい
- 安らぎを感じるまちにしたい
- 歩きたくなるまちにしたい
- 緑あふれるまちにしたい
- 清潔で安全なまちにしたい
- 自然への眺めを大切にしたい
- 誰にでも優しいまちにしたい



ちょっとした工夫をしてみました。  
まち並みの雰囲気が変わっていますね。  
さて、どう工夫したのでしょうか。

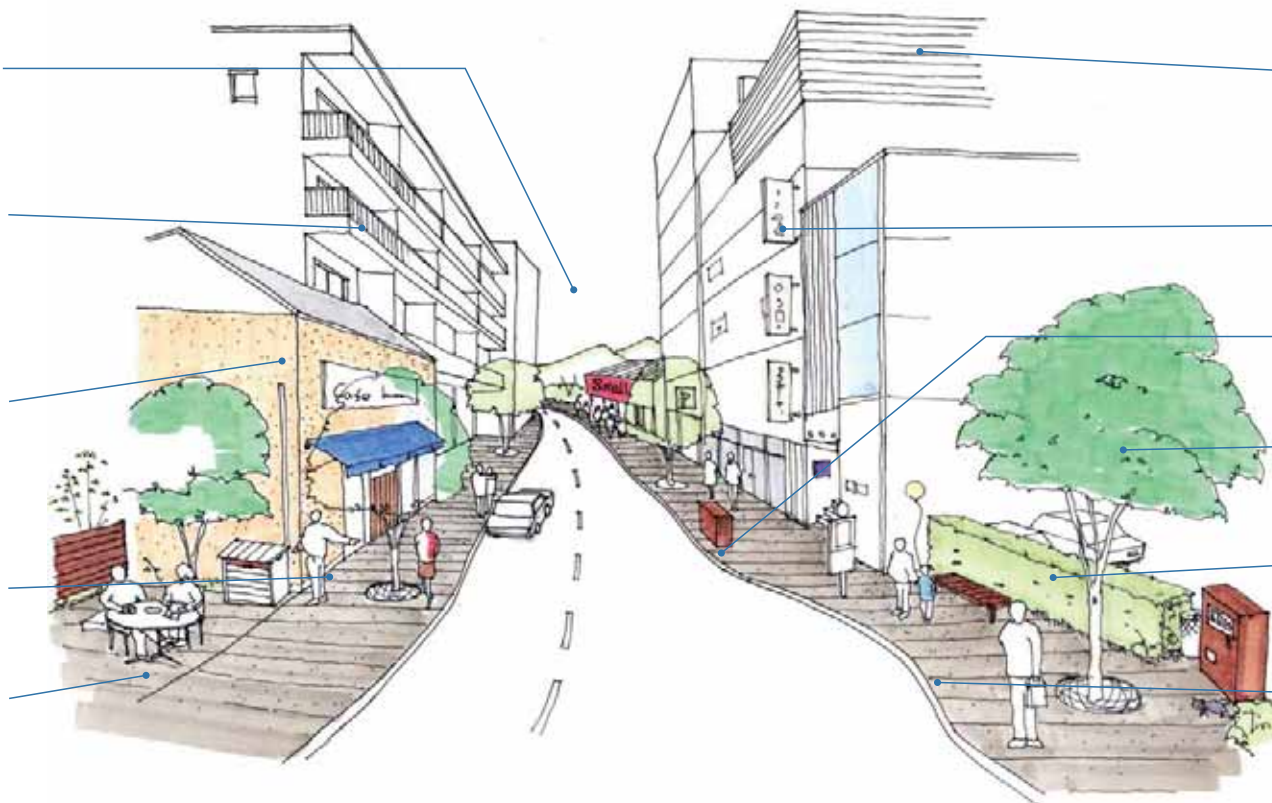
## 景観を良くしていくために、様々な工夫をしてみました。

これまでにご紹介した内容を参考に、皆さんもまちの景観づくりの主役として、計画を考えてみましょう。

工夫したところは

ココ


- ① 屋根の形を変え、大きな看板を小さくして通りから山並みへの眺望を確保しました。
- ② ベランダに干す洗濯物が外から目立たないように物干し設備の位置を工夫しました。
- ③ 外壁面に設置された空調機械を目立たない場所に移動し、囲って修景を行いました。
- ④ ゴミ箱を道路の上に置かないようにしました。
- ⑤ ブロック塀を撤去し、道路に面した空間に植栽やベンチなどを設置し開放しました。



工夫したところは

ココ

- ⑥ 屋上に設置した設備機器は目隠しルーバーにより修景しました。
- ⑦ 突出し看板の形や大きさをそろえました。
- ⑧ 電線の地中化を行い、電柱をなくしました。
- ⑨ 街路樹を増やして通りの修景を行いました。
- ⑩ 駐車場は植栽による目隠しを行い修景しました。
- ⑪ 歩道をインターロッキング舗装などで修景しました。

 浜松市

監 修 / 静岡文化芸術大学大学院 教授 デザイン研究科長 川口 宗敏

発 行 / 浜松市 都市整備部 土地政策課 〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2 TEL 053-457-2344 FAX 053-457-2345 E-mail tochi@city.hamamatsu.shizuoka.jp